

第3回 佐賀市学校給食費検討委員会  
会 議 録

開催日	令和4年10月4日(火)	
開催時間	午前10時00分～午前10時44分	
開催場所	佐賀市役所 議会棟3階 第4会議室	
出席者	検討委員	福山委員長、平田副委員長、塩田委員、岡委員、田中委員、永田委員、梶原委員、馬場崎委員、福島委員、森委員
	事務局	百崎教育部長、横田学事課長 他
議事	佐賀市の学校給食費について	
欠席委員	なし	
傍聴者	3名	
報道関係者	佐賀新聞社、サガテレビ、読売新聞西部本社	

## 議事

### 佐賀市の学校給食費について（事務局）

配布資料【資料1】、【資料2】に沿って説明

## 質疑応答及びご意見

（委員）

- ・【資料1】3ページの分科会による主な意見のうち、「必要な給食費を考えた場合、小学校ではコロナ補助金程度あれば助かると思う」という意見は、現在の物価上昇の前の時期に出た意見ではないのか。直近の9月、10月でも物資の価格が変動しているなかで同じような考えでよいのか心配している。

→（委員）分科会を実施した8月時点での意見であり、小規模校と大規模校ではとらえ方が違うと思う。栄養士の中には、8月から10月における物価上昇を心配されている方もいるかもしれない。

（委員長）

- ・保護者の委員から意見はないか。

（委員）

- ・保護者の声を聞いたところ、物価上昇や栄養面を考えると改定は致し方ないという意見と、若い保護者が多いので改定による経済的負担の心配をされる意見と半々くらいだった。

（委員）

- ・中学校の保護者は、物価上昇による改定は致し方ないという声がほとんどで、反対意見は出なかった。

（委員）

- ・保護者からは改定に対する反対はなかったが、（子どもの人数によって負担の大きさが違うため）値上げ幅を気にされていた。

（委員長）

- ・保護者からの意見を聞くと、改定に対する反対意見はなかったとの認識でよいか。  
→異議なし
- ・校長先生からは他に意見はないか。

（委員）

- ・改定案①の小学校であれば、1ヶ月20食とした場合、子2名だと、20食×260円×2名で約1万円かかることになる。現在の給食は、同じ方向を向いて黙って食べている状況であるが、子どもたちは、給食を非常に楽しみにしている。栄養価とのバランスも考えながら、子どものために大人が頑張っていかなければならない

と思っている。

(委員)

- ・10月に物資の値上げがあり、給食の物資に影響があるのではないかと心配しているが、今のところ、今年度交付されているコロナ補助金のおかげで運営ができています。

(委員)

- ・200食程度の小規模校は、現在も厳しい状況だろうと感じている。保護者（大規模校及び小規模校）から反対意見がなかったのは大変ありがたく、引き続き安全安心な給食づくりに努めていきたい。

(委員)

- ・今回の改定案（小学生）260円の場合、コロナ補助金補助後の額から、約6.2円しか増えていない。10月に物資の値上げがあるが、この改定案でカバーができるのか不安である。

(委員長)

- ・各委員（保護者側及び学校側）から様々な意見をいただいたが、この委員会の方角性として、保護者の負担を減らすということを第一に掲げつつ、今後の物価上昇に対応できる改定が必要であるという意見であったと考えている。

(委員)

- ・現在の物価上昇の現状を踏まえると、この値上げ幅でカバーができるのか心配している。今後はもっとスパンを短くして検討を行っていく必要があると考える。物価の状況等を踏まえ、保護者負担を考慮しつつも、最低限子どもたちの栄養価をカバーできる金額の設定は必要だと思う。

(委員)

- ・児童手当から給食費を引き去りしている家庭はどのくらいいるのか。自動引き去りのため、給食費を払っているという認識が薄く、給食費の値上がりについても当事者意識が薄いのかかもしれない。  
→（事務局）小・中学校全体で児童手当から校納金が引き去りされている割合は、13.5%である。

(委員)

- ・令和5年度にコロナ補助金が交付されるかどうかはわからない。交付あれば、今年度と同じように補助ができるのではないかとと思っている。今回提示された改定案程度の値上げは必要だと思う。ただ、あまり上げすぎると、交付金がなくなったときに一気に負担が増える。

(委員)

- ・10月の物資の値上げを踏まえると、事務局案でもギリギリではないかと考えているが、これ以上の値上げは難しいとも思う。10月の物価上昇を踏まえて給食運営がマイナスにはならないような金額に設定してほしい。小学校の校長として、255円と260円どちらが適正なのかは現時点での判断は難しい。

(委員長)

- ・給食運営では、赤字を出さないのが前提で、いかに子どもの成長を補償するかということを考えており、今回の改定では、数年後まで対応できる適正な給食費を決定してほしい。他に意見がなければ、最終的な方向性を導きたいと思う。改定案について、明確な意思表示をしていく段階であると考えため、委員の皆様のご意見を聞いていきたい。委員長としては、改定案①を希望している。再検討を求める意見がなければ、改定案①を検討委員会の最終意見としたい。

→異議なし

- ・引き続き、事務局から示された答申案について、条件等の意見があれば附帯意見として記載することもできる。ご意見があればいただきたい。

(委員)

- ・学校給食の意義を記載してほしい。

(委員)

- ・「今後は、必要に応じ給食費の見直しを検討していく」といった内容の文言があれば、保護者等により理解をしてもらえるのではないかな。

(委員長)

- ・委員から出た意見を基に、答申の文言は事務局に一任してよいか。

→異議なし

- ・事務局で作成する最終的な答申案は、事前に各委員にも確認してもらい、確認後、教育委員会へ答申を行うこととする。

閉会